

キャリパーライフサイエンス製品の活用レシピ

■■■抗体製剤編■■■

●演題 1

「タンパク質全自動電気泳動システムによる抗体開発のハイスループット化」

協和発酵キリン株式会社 生産本部 バイオ生産技術研究所 八木 有紀

バイオ医薬品の開発において、初期の細胞選抜や培養条件検討等では、多検体について試料量の少ない状態での品質評価が必要となる。しかし、現行の HPLC 分析や CE 分析では、必要な試料量が多く、評価する試験項目を絞りざるを得ない状況となっており、これが開発におけるリスクを増大させている。弊社においてもそのリスクの低減のため、微量で迅速に品質を評価できる各試験法の検討を行っている。抗体開発における純度評価は主に CE が使用されているが、ここ数年で微量化、迅速化の点で優れるマイクロチップ電気泳動という革新的なシステムが登場してきた。本セミナーでは、抗体分析における LCGX II の性能評価及び CE 分析との比較を紹介する。

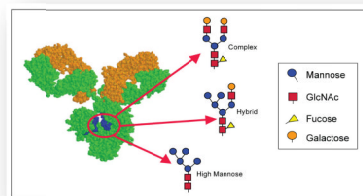
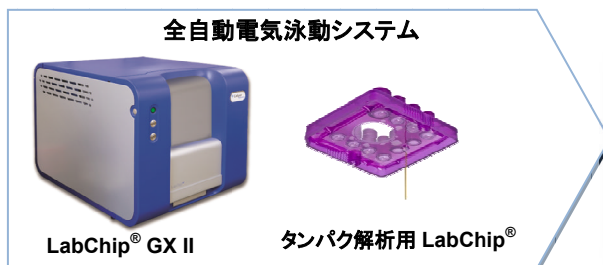
●演題 2

「マイクロチップ電気泳動(LCGXII)によるタンパク質の糖鎖構造の迅速解析」

キャリパーライフサイエンス日本支社

高山 喜好

抗体製剤においてタンパク質糖鎖修飾の制御は製剤の安定性、体内動態、薬効に極めて重要な要素である。またリコンビナントタンパク質を生産する宿主細胞の種類、培養条件で糖鎖修飾の様式が変化することが知られている。医薬品の開発段階では製造の最適化のため、さまざまな条件下で生産されるリコンビナントタンパク質の糖鎖構造を微量で迅速に解析できる技法のニーズは高い。Labchip®テクノロジーを応用したマイクロチップ電気泳動(LCGXII)と N 型糖鎖の蛍光ラベル法を組み合わせた糖鎖解析プラットフォームはそうしたニーズにマッチしているといえる。本セミナーでは解析プラットフォームの性能と可能性についてリコンビナント抗体の解析結果をまじえて紹介する。



キャリパーライフサイエンス日本支社

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-17-15 齊藤ビル 2F

TEL: 03-5840-6551 FAX: 03-5840-6554

<http://www.caliperls.jp>



Caliper
LifeSciences